

検査部門で血液・髄液検体のみのデータを提出している医療機関について（案）

平成 19 年 7 月にサーベイランスシステムの更新が行われ、検査部門については提出対象データが血液・髄液検体のみから全検体に変更になった。但し、平成 19 年 6 月以前より参加していた医療機関においては、移行措置として血液・髄液検体のみのデータ提出を認めている。

平成 20 年 11 月、血液・髄液検体のみのデータを提出している 17 医療機関に対し、全検体のデータ提出を再度依頼した。

平成 21 年 2 月、現状について問い合わせたところ、2 医療機関は全検体のデータ提出をすでに行っていた。残りの 15 医療機関の現状を、以下の表に示す。

全検体のデータ提出への移行について	医療機関数
可能	3
おそらく可能	1
おそらく不可能	5
不可能	2
検討中	4
合計	15

※2009 年 2 月 1 日現在、検査部門への参加は 574 医療機関

これらの状況を踏まえると、サーベイランスシステム更新後 2 年となる平成 21 年 7 月を目途に、全検体のデータ提出が不可能な医療機関には脱退を促す方向で検討することとしたい。